

○8月6日のワークショップから「強み」・「弱み」を作成

8月6日のワークショップの中から今後の「今田の国づくり」として具体的な活動方針を決めていく時に基本としていくべき問題をまとめたものです。

9月3日でワークショップは一応終了しました。これからは役員で事業としてどう取り組んだらよいか、優先順位等まとめていくことになります。

また、県民広場事業として来年度の申請採択目指しても取り組むことになります。

○強み

- ・古窯が培った全山紅葉（新緑）の美しさ
- ・圏域、出入り口が明確な峠の地勢（自律的文化圏）
- ・加古川の水源地在育てた今田米の美味しさ
- ・全国への顔となる丹波焼と陶芸美術館、薬師温泉（充実した来訪施設）
- ・阪神間に近い中での田舎環境と丹波を代表する利便性（交通条件）
- ・顔見知りの多い連帯感とまとまり

- ・田舎暮らし（自然回帰）ブーム
- ・食・農に関する関心の高まり
- ・インターネット等の普及
- ・自然の保護
- ・団塊世代のリタイヤ層の増加
- ・道路網整備による通過交通の増加
- ・国、県レベルのツーリズム支援
- ・国際観光の推進

○機会

○弱み

- ・若年層の人口減少
- ・農業の担い手不安
- ・公共交通の不備
- ・病院が少ない緊急医療不安
- ・魅力の総体的低下、維持管理の粗放化
- ・都市化に伴う人間関係の希薄化
- ・篠山市の中での孤立的疎外感（孤立的文化圏）
- ・校区全体でのPR戦略の不透明性
- ・丹波や田舎の全体イメージとしての資源の少なさ

- ・他地域でも地域の活性化重視
- ・都市住民ニーズの個別化、複雑化
- ・質に対する要求の高まり
- ・低支出型交流の増加（直接経済効果の遞減）
- ・自然的魅力資源（川・農地・里山）の荒廃
- ・少子高齢化による担い手不足
- ・三田等への若者流出

○脅威